

# イノシシの被害防止

## 出没させない集落づくり



イノシシの用心深い性質を利用した、防護柵と集落環境整備の組み合わせで被害を防ぎましょう。被害の多い地域では、加害個体を捕獲することも効果的です。



### 生態と分布

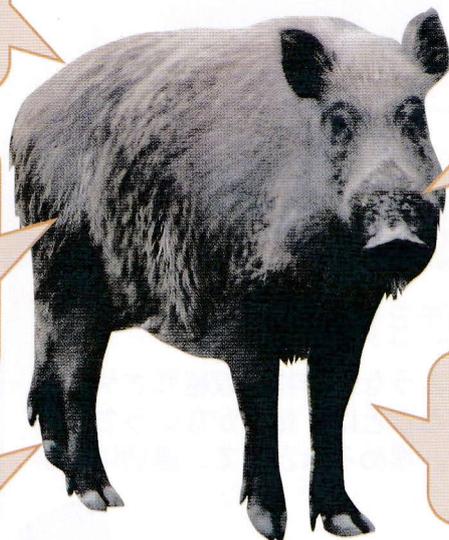
対策を考えるには イノシシをよく知る事が大切です

#### 体長：120～150cm

体つきはずんぐりしています。毛はかたくて丈夫です。

#### 体重：50～100kg

生まれたときは約500gですが、1歳で20～30kgにまで成長します。



臭覚は優れていますが、嫌いな臭いは特になく、木酢液やクレオソートの臭いも平気です。

鼻先の力は強く、重さ60kgのものでも動かせます。



高さ約1mの柵はジャンプして飛び越えてしまいます。

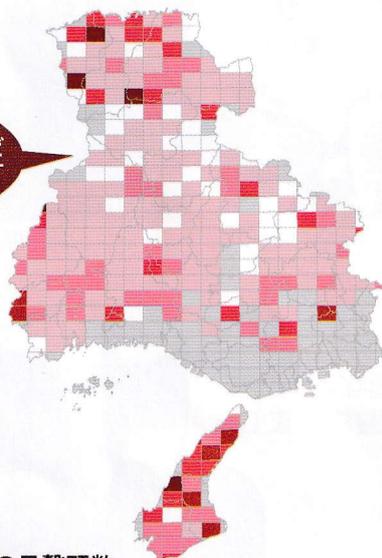
雑食で、木の実や根、ミミズなどを食べます。



兵庫県ではほとんどのメスは1歳から子どもを産むことができます。子どもの数は平均4頭です。

本来、警戒心が強く、とても臆病です。人の気配に気づくと隠れたり逃げたりします。

色が濃いところほど多く生息しています



1人1回出猟あたりの目撃頭数 (2017年 狩猟者アンケートより)

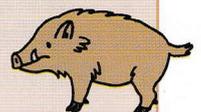
#### 生息環境

平地から山地の広葉樹林にすんでいます。水場が近いところを好みます。



#### 分布

県内に広く生息していますが、但馬北部や淡路島北部に多く分布しています。



①